

えほん版 ブックリスト

# ビーだま



2013年 No.37

<編集・発行>

富山市立図書館

富山市丸の内1丁目4-50

電話 076-432-7273

平成26年4月23日発行

(年2回発行)

2013年7月～12月に図書館に入った本の中から、  
とくにおすすめの本をしょうかいします。



あ・あ / あー・あー

三浦 太郎 / さく・え 童心社



魚は「と・と」、靴は「く・く」。ヤギは「めー・めー」、雨は「ざー・ざー」。同じ音を二回繰り返す、赤ちゃんの喃語がたくさん集められた絵本です。

ページいっぱい描かれた鮮やかな絵を指さして赤ちゃんとお話しましょう。

[赤ちゃん～]

## どんぐりころちゃん

みなみ じゅんこ／作 アリス館



♪どんぐりころちゃん、あたまはとんがっ  
ておしりはぺっちゃんこ、どんぐりはちくり  
しょ♪ 歌に合わせてどんぐりたちが楽し  
そうに体を動かします。

わらべうたの楽譜と遊び方ものっています。

[赤ちゃん～]



## かぜフーホッホ

三宮 麻由子／ぶん 齊藤 俊行／え 福音館書店

風が本のページをパフパフめくる。洗濯し  
たシーツをブオッフアとあおる。草はらや竹  
林から、さまざまな風の音が聞こえてきます。  
一つとして同じ音はありません。

躍動感あふれる絵から、本当に風が吹いて  
きそうです。

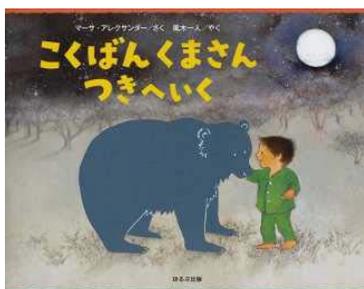


[幼児～]



## こくばんくまさんつきへいく

マーサ・アレクサンダー／さく 風木 一人／やく ほるぷ出版



アンソニーの部屋の黒板には、くまが描か  
れています。「月へ行きたい。」アンソニーの  
願いをかなえようと、真夜中、くまが黒板か  
ら抜け出して宇宙船を組み立て始めました。

秘密の友達との交流を温かく描いた作品  
です。

[幼児～]

## ちびはち

エドワード・ギブス／作 谷川 俊太郎／訳 光村教育図書



「ちびはち ちびはち、なんでにげるの？」  
「はらぺこかえるがおってくるから！」蜂が逃げ、蛙が追う。蛙が逃げ、蛇が追う。最後には、逃げるハンターを蜂が追い、追いかけてこの輪がつながります。

言葉の繰り返しが楽しい絵本です。

[幼児～]



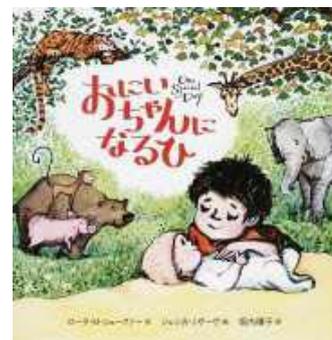
## おにいちゃんになるひ

ローラ・M・シェーファー／作 ジェシカ・ミザーヴ／絵  
垣内 磯子／訳 フレーベル館

ふざけっこやどろんこあそびがだいすき。  
元気な男の子スペンサーのもとに赤ちゃんがやってきました。

満ち足りた毎日と兄になった喜びが、力強いタッチで描かれています。

[幼児～]



## おおやまさん

川之上 英子 川之上 健／さく・え 岩崎書店



おおやまさんは、幼稚園バスの運転手さんです。厳しいので、子どもたちには人気がありません。一方で、笑顔で花壇の世話をしたり節分の鬼になってくれたりする姿もあることに一人、二人と気づき始めます。

内に秘めた人の優しさが見える作品です。

[幼児～]

## まちには

### いろんなかおがいて

佐々木 マキ／文・写真 福音館書店

マンホールのふた、家の窓、板の木目。まちを歩くと、見慣れた物が目や口のついた顔に見えてきます。機嫌のいい顔、渋い顔。

顔に見える物たちが語りかけてくるような写真絵本です。

[幼児～]



## ミルクこぼしちゃだめよ！

ステイーヴン・デイヴィーズ／文

クリストファー・コー／絵

福本 友美子／訳 ほるぷ出版

ペンダは、お父さんにミルクを届けようとおわんを頭にのせて歩いていきました。あと一息というとき、大変なことが起こります。

西アフリカの風習が、鮮やかな色彩で描かれています。

[幼児～]



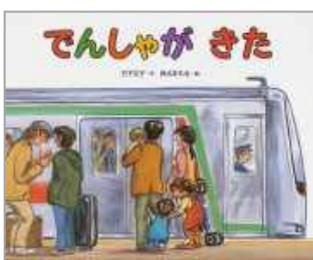
## でんしゃがきた

竹下 文子／文 鈴木 まもる／絵  
偕成社

田園風景の中を電車が来ました。都会で職場に急ぐ人たちの元にも、そして災害のあとに復旧した駅にも電車は来ます。

電車を利用する人々の日常がありありと目の前に迫ってきます。

[幼児～]



## おむかえワニさん

陣崎 草子／さく 文溪堂

ちよちゃんは、ばあちゃんの家泊まるため、一人で電車にのります。駅で待っていたのは、ばあちゃんのお使いで来たワニさんでした。道中、二人の間にめばえる絆がほほえましい作品です。

[幼児～]

